

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
岡崎市	岡崎市	平成 29 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日	平成 29 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

1 目標の達成状況

(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (令和 年度)	目標 (割合※1) (令和 年度) A	実績 (割合※1) (令和 年度) B	実績/目 標※2	
排出量	事業系 総排出量	t	t (%)	t (%)	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t (%)	t (%)	%
	生活系 総排出量	t	t (%)	t (%)	%
	1 人当たりの排出量	kg/人	kg/人 (%)	kg/人 (%)	%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t (%)	t (%)	%
再生利用量	直接資源化量	t (%)	t (%)	t (%)	%
	総資源化量	t (%)	t (%)	t (%)	%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	t (%)	t (%)	t (%)	%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成27年度)	目 標 (令和4年度) A	実 績 (令和4年度) B	実績/目 標※3	
総人口	383,493 人	375,540 人	383,789 人	—	
公共下水道	汚水衛生処理人口	336,221 人	334,231 人	342,884 人	-334.8%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	87.7 %	89.0 %	89.3 %	123.1 %
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	8,542 人	7,886 人	7,639 人	137.7 %
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	2.2 %	2.1 %	2.0 %	200.0 %
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	20,044 人	19,153 人	19,663 人	42.8 %
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	5.2 %	5.1 %	5.1 %	100.0 %
未処理人口	汚水衛生未処理人口	18,686 人	14,270 人	13,603 人	115.1 %

※3 (実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの		広報紙によるPR	岡崎市	浄化槽転換設置整備補助金の周知、法定検査受験の周知	H29-R3	市政だよりや住民説明会で浄化槽転換設置整備事業補助金や法定検査受験の周知を行った。
		環境教室	岡崎市	市内小学生を対象とした環境啓発	H29-R3	事業実施機関において生活排水に関する環境啓発を実施した。
		環境イベントへの参加	岡崎市	環境啓発を目的としたイベントに参加し、浄化槽維持管理等の周知を実施	H29-R3	コロナ禍により環境イベントの開催が見送られた。
処理体制の構築、変更に関するもの		先進事例の研究・実施	岡崎市	岐阜県の「らくらく一括契約」や長崎県の「総合評価システム」などの本市導入について検討	H29-R3	浄化槽関係団体及び中核3市で浄化槽一括契約導入における勉強会を実施したが導入を見送った。
		市町村整備推進事業の検討	岡崎市	本市導入に向けた検討	H29-R3	検討の結果、本市の実情には合わない判断したため、導入は見送りとした。
		浄化槽台帳システムの再構築	岡崎市	GISシステムを活用した台帳整備を導入し、浄化槽の実態把握の向上、維持管理啓発を実施する。	H29-R3	浄化槽台帳システムを導入し、効率的な維持管理の助言・指導を実現させた。
処理施設の整備に関するもの	1	浄化槽設置整備事業	岡崎市	単独処理浄化槽や汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換促進を図るための補助制度の強化	H29-R3	H29～R3まで補助事業を実施し、191件に対して補助を行った。 H29 58基 H30 30基 R1 30基 R2 31基 R3 42基
		既存単独処理浄化槽	岡崎市	単独処理浄化槽の有効活用を	H29-R3	H29～R3まで補助事業を実施

		の雨水貯留槽への転用		促進し、廃棄物の発生抑制を目指す。		し、1件に対して補助を行った。 R2 1基
施設整備に係る計画支援に関するもの						
その他		先進地視察研修	愛知県合併処理浄化槽普及促進協議会	浄化槽事業で先進的な取組を実施している自治体等を訪問。	H29-R3	集合処理から個別処理への切り替えに関する先進地の視察を行った。
		浄化槽フォーラム	愛知県合併処理浄化槽普及促進協議会	行政職員及び浄化槽関係事業者向け研修会、浄化槽等の展示会	H29-R3	行政職員、浄化槽関係事業者を対象に研修会や浄化槽展を実施した。

3 目標の達成状況に関する評価

公共下水道は、普及率の向上のため整備面積の拡大を図っている。目標の 334,231 人に対し実績 342,884 人、普及率は目標 89.0%に対して 89.3%であり目標値を上回った。

集落排水施設は全 10 処理区が既に完成している。農業振興地域の人口減少に伴い目標の 7,886 人に対し実績 7,639 人、普及率は目標 2.1%に対して 2.0%となり目標値を下回っている。

合併処理浄化槽は目標の 19,153 人に対し実績 19,663 人と上回ったものの、普及率は目標 5.1%に対し実績 5.1%と計画のとおりとなっている。

生活排水処理について、公共下水道を基本とし、計画区域外について浄化槽設置事業等により合併処理浄化槽への転換を進めた結果、総人口は目標値に対して増加していたものの、未処理人口は目標値を下回ることが出来ており目標は達成していると考えられる。

(都道府県知事の所見)

公共下水道の普及率向上により、汚水処理衛生未処理人口の目標を達成した。
また、令和4年度の汚水処理人口普及率は合計で96.4%と取り組みの成果が出ていると推定される。今後も引き続き未処理人口の減少への意欲的な取り組みを期待する。